

# 郡山普及だより Yes! 農!!!

発行:福島県県中農林事務所農業振興普及部  
住所:〒963-8540 郡山市麓山1-1-1  
TEL:024-935-1310 FAX:024-935-7030

## おめでとうございます! 小林正一郎さん・良子さん福島県農業賞受賞!



内堀福島県知事と小林ご夫妻（表彰式）



2人で仲良く機械の点検を行う小林ご夫妻

郡山市片平町の小林正一郎・良子ご夫妻が、第61回福島県農業賞（農業経営改善部門）を受賞されました。

小林ご夫妻は、2人の後継者とともに家族経営による水稲の大規模経営を実践されています。販売先（ニーズ）に応じた複数品種の栽培や直播導入による省力化に加え、先進技術であるほ場管理システム（ICT）を導入され、その結果、小林さんのモットーである「大規模経営であっても収量（反収）を低下させないこと」を実現されています。

また、小林さんは農業委員として片平西部地区の「人・農地プラン」の策定に積極的に関わるほか、長年、福島県指導農業士として、新規就農者の指導や育成に携わるなど、地域農業の振興に大きく貢献されたことも高く評価されました。

「今後も家族労働で経営することにこだわっていきたい」と抱負を述べられました。

小林正一郎さん・良子さん、そして、ご家族の皆様誠におめでとうございます。



## 福島県オリジナル水稲新品種 「福、笑い」が収穫されました!

令和3年の本格デビューを前に郡山市内で先行栽培していた「福、笑い」が、秋空の下、10月6日に収穫されました。

今年は、梅雨期の長雨により心配された倒伏や病気の発生もほとんど見られず順調に生育し「倒れにくく、いもち病にかかりにくい」という「福、笑い」の特徴を確認することができました。

県内では11月10日(火)からはうすい百貨店やコラッセ福島で販売されるとともに、首都圏の百貨店やオンライン等でも販売が開始されています。特集のホームページもありますので是非ご覧ください。

※数に限りがありますので、お早めにお求めください。



収穫作業中の生産者

福笑い  
HP



## 鳥獣被害対策のモデル集落の取組が 田村町田母神地区でスタートしました!



現地ほ場での環境診断

本年度より田村町田母神地区を鳥獣被害対策「モデル集落」とし、総合的な対策の実証を行っています。

まずは、状況把握や地区内での獣の動きを見るためにセンサーカメラを設置しましたが、イノシシをはじめ、タヌキ、ハクビシン、アライグマ等様々な獣種が多数確認出来ました。また、アンケートにより農作物の被害状況等を把握するとともに、集落環境診断を通じて、より効果上がる鳥獣被害対策について検討しました。集落の方々からはイノシシに

よる被害を何とか減らしていきたいという、強い思いが感じられました。

先行して電気柵を設置した水田では、イノシシの侵入経路に注意して電気柵の点検を行いながら、みんなで協力して広域的に設置した結果、米への被害を回避することができています。

今後は、やぶの刈払い等の「生息環境管理」、柵設置等による「被害防除」、イノシシの捕獲等の「個体数管理」を組み合わせた総合的な対策実施に向けて、地域での話し合いや地域一丸となった様々な取組への支援を行っていく予定です。



診断結果の取りまとめ

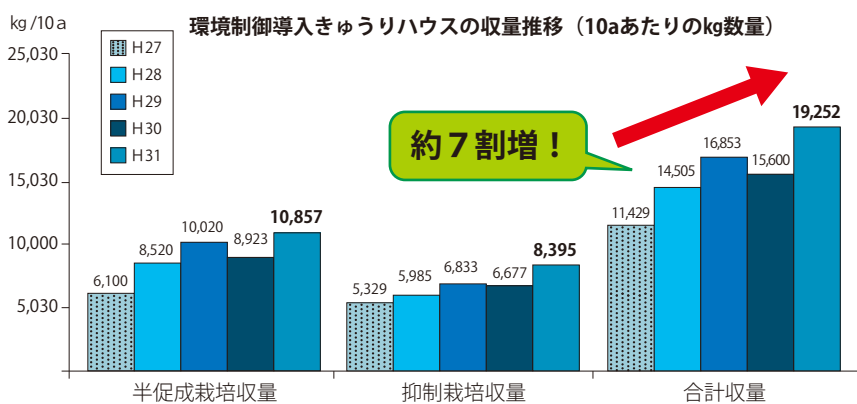
# 郡山地区の実証ほ紹介 ～きゅうり環境制御～

皆さんも学校で習った「光合成」。植物が普段行っている光合成を最大限に引き出して、生産量を増加させようとする技術が「環境制御技術」です。

施設内の二酸化炭素濃度や温度、湿度などを自動測定して、作物の光合成を最大限に高める環境を作り出すことができます。

郡山地域でも少しずつ環境制御技術を導入する農家が増えていきます。中でもきゅうりにおいては、導入前に比べて総収穫量が168%に向上しました。(令和元年度実績、当部調べ)

この他、トマトやいちごでも増収効果が認められた技術ですので、ご興味のある方は、経営支援課(935-1321)までご連絡ください。



きゅうり環境制御 (左 環境測定装置、右 データ表示(PC上))

# 梨病害防除ナビゲーション (梨ナビ) の現地実証

梨ナビとは千葉県で開発されたナシ病害防除支援情報システムです。降水時間や温度を用いてナシの重要病害である黒星病の発病予測や散布農薬の効果期間などをチャートで表示できます。農業振興普及部では、今年の4月から運用をスタートし、データの収集とチャートの活用により防除暦の正確性、雨前散布の有効性が確認できました。

現在収集したデータの分析を行い、来年度の農薬散布適期や防除暦の検討に活用する予定です。

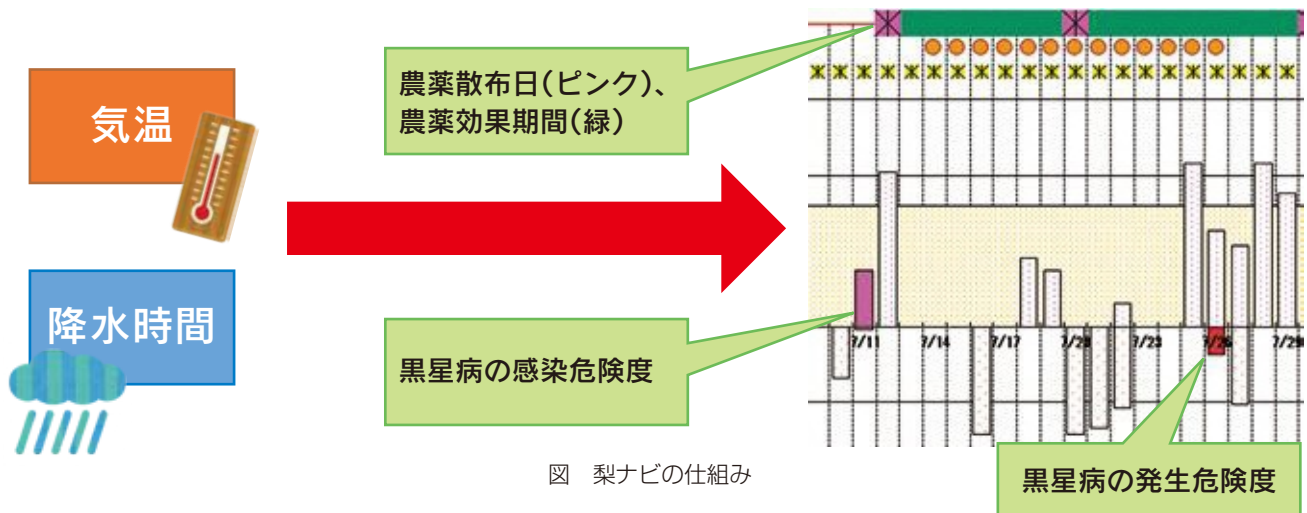


図 梨ナビの仕組み

## 農業振興普及部からのお知らせ

### 「堆肥を活用しませんか？」

皆さんは水田や畑等に堆肥を投入していますか？堆肥は土壌の物理性改善や栄養供給などの土作りには欠かせません。

「近くの堆肥供給者を知りたい」「希望する堆肥が入手できない」など、堆肥を利用したいと思っている方は郡山市堆肥マップをご活用ください。堆肥の活用について不明な点がございましたら地域農業推進課（935-1310）までご相談ください。

（郡山市堆肥マップは郡山市ホームページからご覧になれます）



郡山市  
堆肥  
マップ



とっても熱い青年農業士の皆さん

### 「郡山市青年農業士会員募集！」

市内の若手農業者16名で組織される郡山市青年農業士会では、県内外での研修等を通して、新たな知識や技術を習得するとともに、会員間で活発な交流を行っています。

各会員は水稲や野菜、果樹など多種多様な経営を行っており、普段接点のない農業者との交流が経営改善のきっかけとなることもあります。随時、会員を募集していますので、興味ある方は地域農業推進課（935-1310）までご連絡ください。

### 「生活研究グループ会員募集！」

郡山生活研究グループ連絡協議会では、会員相互の交流と知識・技術の向上による郡山市農業の振興や地域の活性化を目指して、次のような活動に取り組んでいます。

- ①地域づくりを学ぶ「視察研修会」
- ②郷土料理の継承につながる「料理講習会」
- ③県内の生活研究グループ員との交流を通して学ぶ「資質向上研修」

一緒に活動する仲間を随時募集しておりますので、研修会などに参加したい場合は、地域農業推進課（935-1310）までご連絡ください。



生活研究グループの活動風景

### 「農薬の基準超過に気をつけましょう！」

- 農薬を使用するときには、①農薬使用基準の確認と②農薬飛散防止対策を徹底しましょう。

また農薬を使用した後には、①使用した防除器具の洗浄、②使用した農薬、使用容量等の記帳を適正に行いましょう。

**使用時に最新の農薬登録情報を確認しましょう！**

**農業者の皆さん！リスクへの備えはできていますか？**

**「収入保険」、「園芸施設共済」の加入をお勧めします！**

**詳しくはお近くの農業共済組合までお問い合わせください。**